

上富田町 橋梁長寿命化修繕計画

背景・目的

- 上富田町が管理する橋梁は、平成25年現在で234橋架設されています。橋長15m以上の橋梁に着目すると橋梁数は30橋あり、このうち、架設後50年を経過する橋梁は全体の7%(2橋)ですが、20年後にはこの割合が77%(23橋)となり、急速に高齢化橋梁が増大します。
- 一方、今後の交通量の増加や車両の大型化、また橋や道路の老朽化が進むに従い痛みもひどくなり、町民活動を支える橋や道路を取り巻く環境は今後ますます厳しさを増すものと考えられます。あわせて、これら的高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の『悪くなってから対策をとる』という対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が増大となることが懸念されます。
- 人間の体に例えると、対症療法型は「図1」のように慢性疾患による入院治療に相当し、多大な治療費が必要になります。これに対し、健康診断を定期的の実施して早期治療(薬や注射による治療)を行う予防保全型では、医療費のトータルコストが抑えられ「元気で、長生き」できることにつながります。

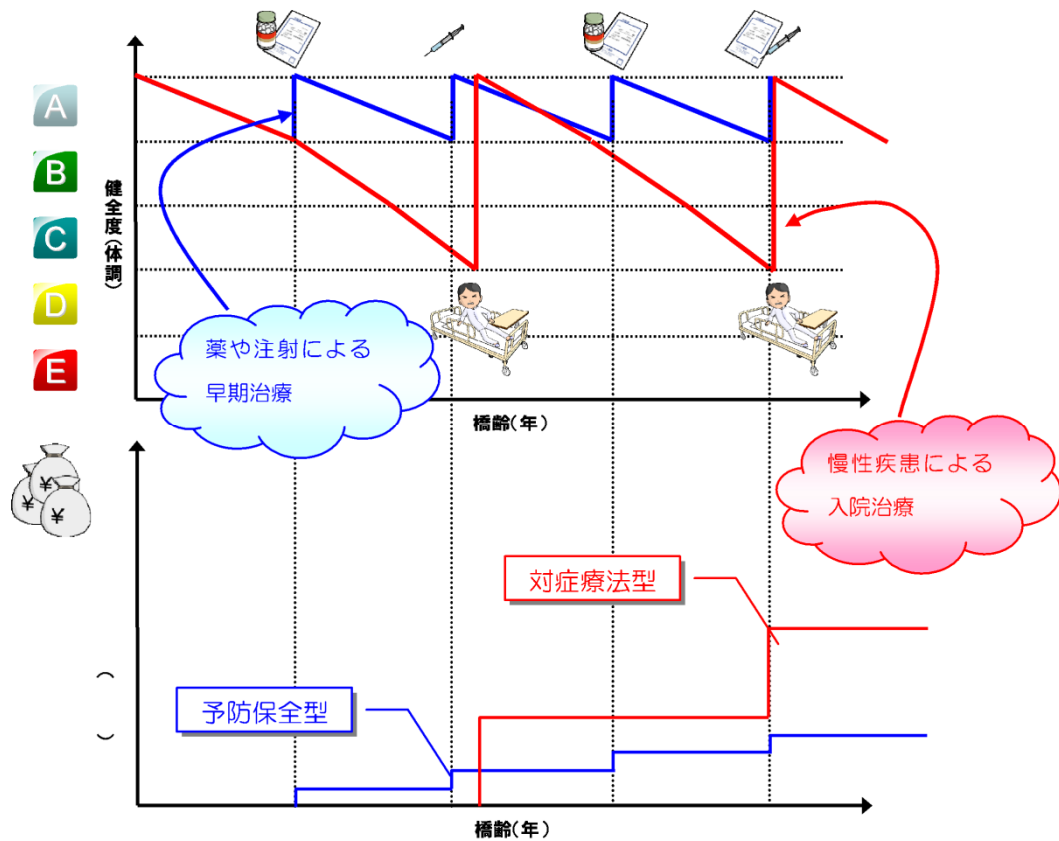


図1 対症療法型と予防保全型のイメージ

上富田町 橋梁長寿命化修繕計画

- このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠になります。
- 上富田町では、以下の目的のもとに長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の維持管理を行っていきます。

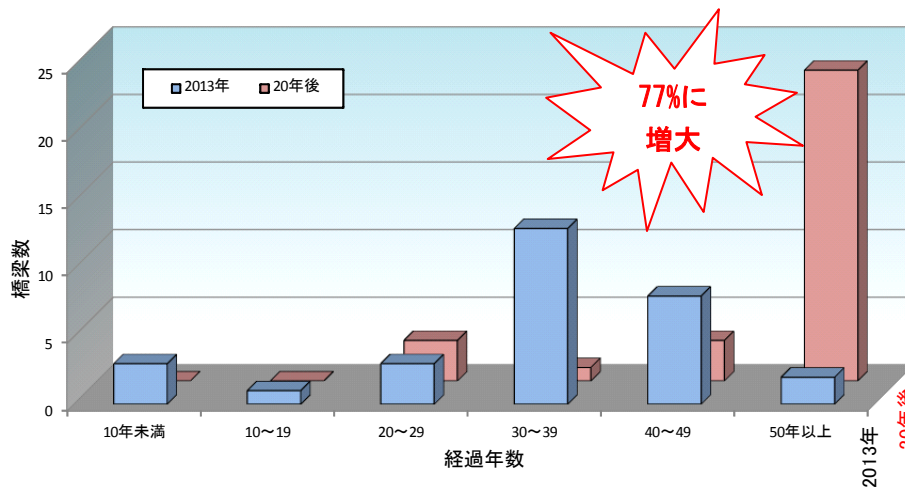
① 安全で安心できる道路橋の確保

今後高齢化の進む橋梁の安全性を確保し、安心して利用できる道路ネットワークを確保します。

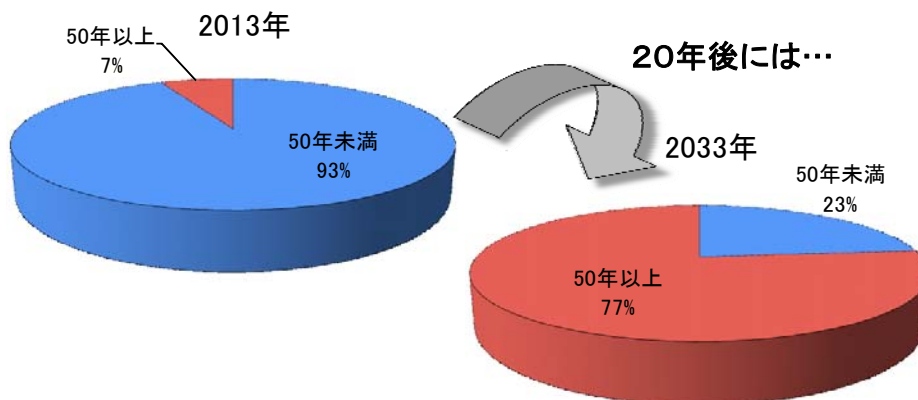
② コスト削減、必要予算の平準化

これまでの事後保全的な対策から、計画的かつ予防的な対策への転換を図り、橋梁の長寿命化修繕計画に基づいた対策によるコスト縮減を図ります。さらに、橋梁の長寿命化に必要な予算を実現可能な規模に適正化したうえで、長寿命化修繕計画を策定します。

上富田町が管理する橋梁数（橋長 15m 以上の橋梁数 30 橋）



高齢化橋梁の分布の推移



20年後には、高齢化橋梁の割合が77%

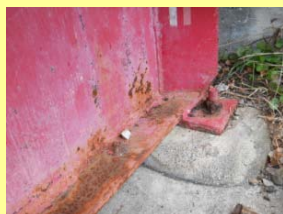
上富田町 橋梁長寿命化修繕計画

長寿命化修繕計画

- 上富田町では、平成24年に橋長15m以上の30橋のうち27橋について長寿命化修繕計画を策定しました。
- 今後、長寿命化修繕計画に基づいた橋梁点検や補修対策を着実にを行うとともに、その結果を反映させて長寿命化修繕計画の見直しや更新を継続的にを行います。
- 長寿命化修繕計画により計画的かつ予防的な対策を行い、メンテナンス費用を平準化し、橋梁の寿命を延命することでコストの縮減を図ります。
- 従来の考え方では、将来にわたって安全で安心できる道路橋を確保することが財政的に困難になります。計画的に橋梁点検や予防保全を推進し、橋梁の長寿命化を図る長寿命化修繕計画が、将来の安全で安心できる道路橋の確保を達成する適正な手段です。

長寿命化修繕計画に基づいて補修対策を行う損傷の事例

鋼桁の損傷に対する補修



コンクリート桁の損傷に対する補修



下部工の損傷に対する補修



支承の損傷に対する補修



ご助言いただいた学識経験者

長寿命化修繕計画を検討するにあたり、学識経験者の方にご助言をいただいています。

中本純次 国立和歌山工業高等専門学校教授

問い合わせ先

上富田町役場 産業建設課
〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763番地
TEL:0739-47-0550